

# 第2章 津波・高潮ハザードマップの概要

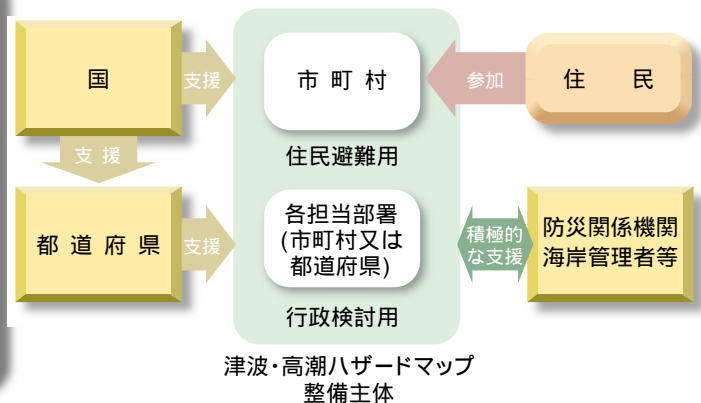
## 作成目的

住民避難用ハザードマップ・・・住民に災害の危険度・避難場所・避難経路等の情報を提供。  
 行政検討用ハザードマップ・・・災害に対する予防対策、応急対策等を行う各行政部署がそれぞれの業務を検討するために作成。

## 整備主体と役割分担

住民避難用ハザードマップは、市町村が、行政検討用ハザードマップは、各行政部署がそれぞれ主体となって、都道府県や国の支援のもとに進める。  
 ワークショップ等を通じて住民がハザードマップの作成に参画することが、ハザードマップへの地域特性の反映や周知、利活用促進の上で有効。

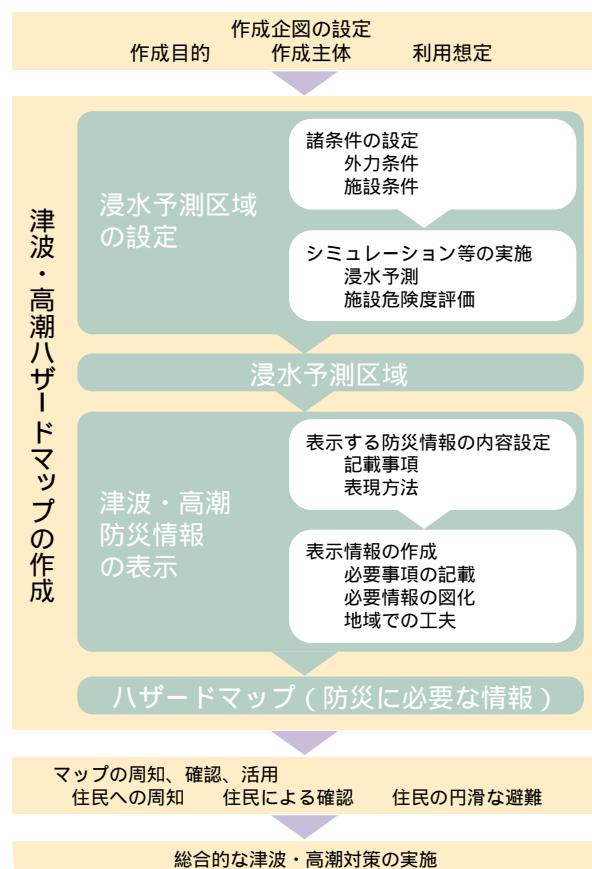
## 津波・高潮ハザードマップの整備主体



## 津波・高潮ハザードマップの作成手順

浸水予測区域の設定、津波・高潮防災情報の表示の手順で作成。  
 浸水予測区域の設定にあたっては、外力条件や施設条件の設定を行うとともに、浸水予測などの各種シミュレーションを実施。  
 防災情報の表示にあたっては、防災情報の内容設定、表現方法の設定を行う。

## 津波・高潮ハザードマップ作成・活用の流れ



## 津波・高潮ハザードマップ作成の関連情報

対象区分	情報区分	
住民避難用ハザードマップ	避難活用情報	避難基本情報
		避難付加情報
行政検討用ハザードマップ	災害学習情報	
	予防対策用情報	基本情報
	応急対策用情報	目的別情報

## 住民避難用・行政検討用ハザードマップ作成の流れ

